

研 究 業 績 等 に 関 す る 事 項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概 要
(著書)				
(学術論文)				
1「血液透析患者の足部皮膚外観と下肢血行との関係」 (修士学位論文)	単著	平成20年3月	金沢大学大学院	血液透析患者では動脈硬化が進んでおりPAD合併率が多いと言われており、また透析患者のPADは末梢、特に下肢遠位に多くみられることから、血液透析患者の下肢PAD早期発見が重要である。看護師の行う下肢皮膚色や皮膚外観からの血流アセスメントは簡便で短時間で実施可能だが、主観的な評価方法のため、看護師間での結果共有が困難である。 そこで、皮膚色や皮膚表面形態を、機器を用いた測定により数値化し、下肢血行との関係を明らかにすることを研究目的とした。 結果、血液透析患者の足部血流を最も良く説明する指標は皮膚の赤味を示すa*であることが示唆された。これにより、従来の皮膚外観からの血流アセスメントに客観性が示された。
2「糖尿病患者における皮膚外観を用いた下肢血流低下アセスメント指標の評価」 学会賞受賞	共著	平成27年10月	看護理工学会誌2巻1号 (2015)	糖尿病は末梢動脈疾患のリスクであり、悪化すると下肢切断にいたることがある。糖尿病患者のフットアセスメントの一つに皮膚の観察がある。本研究では皮膚の色および皮膚の表面形態と測定機器を用いて数値化し、下肢血流低下との関連を調査した。結果皮膚色a*とb*が2群間で差があり、下肢血流低下に最も関連したのは赤味の指標であるa*であった。糖尿病患者においてPADを示唆する下肢血流低下の状態では皮膚色はより暗い赤みを呈し、今後皮膚色を用いてアセスメントすることの有用性が示唆された。 共同研究により抽出不可 大桑麻由美、油谷和恵、鈴木基子、前馬宏子、藤本由美子、臺美佐子、須釜淳子 油谷担当分：研究計画、データ収集、分析
(その他)				